

# 小豆島の公共交通再編による現状と新たな取組み等

瀬戸内国際芸術祭の開幕、小豆島中央病院の開院、小豆島中央高校の開校など、島内の周辺環境の大きな変化に伴い、平成28年3月20日から上限運賃を片道300円とするなど島内の公共交通を大幅に再編しました。新病院、新高校あるいは観光客も含め、誰もが安心して利用できる公共交通の見直しにより、小豆島の元気づくりをめざします。

## 路線再編後の利用状況等

### 利用者数の推移

❖全支払い手段によるバス利用者数

#### 【再編前】

H25: 409, 444人※瀬戸芸  
H26: 354, 874人  
H27: 351, 433人

#### 【再編後】※9月以降推計値

H28: 554, 747人(前年比57.9%)  
H28: 563, 754人(前年比60.4%)※瀬戸芸補正

❖値下げによる乗車人員増は全国的にも稀な事例

利用客が前年の  
約1.5倍に

### 運賃収入の推移

❖小豆島オーリーブス(株)の運賃収入

#### 【再編前】

H25: 150, 364千円※瀬戸芸  
H26: 122, 062千円  
H27: 116, 103千円

#### 【再編後】※9月以降推計値

H28: 110, 270千円(前年比△5.0%)  
H28: 112, 228千円(前年比△3.3%)※瀬戸芸補正

❖再編前試算では前年比約△40%を想定していたが、小豆島中央病院への通院や瀬戸芸等の観光客の利用により運賃値下げによる減収が軽減される見込み



さらなる  
利用促進  
に向けて

## 利用客確保に向けた新たな取組

### 通学定期助成制度の創設

平成29年4月に開校する小豆島中央高校へバス通学する生徒を新たな利用客として確保することを目的として、小豆両町で公共交通の利用促進をはじめ、子育て支援と交通安全対策等の総合的な観点から通学定期券の一部助成を行います。



### 助成制度の概要案

H29予算額 1,584千円

【基本運賃300円(6.1km以上の場合)】  
1か月定期券金額: 7, 200円  
(片道3, 600円)

実質家計負担  
5,000円/月

⇨ 5, 000円(片道2, 500円)  
を超える額を助成

❖H27.12県教育委員会によるアンケート調査で定期券を購入する場合の希望額が5, 000円と答えた方が約40%

新たな利用客を確保して、持続可能な公共交通を実現